令和3年度 島根大学総合科学研究支援センター公開講演会
島根の科学 ―おもしろい科学のはなし―

日本の養液栽培
・・・その可能性と課題

講師 浅尾 俊樹 教授（島根大学学術研究院農生命科学系）

日時 令和3年11月19日(金) 15:00～16:30

方法 Zoomによるオンライン開催

定員100名
参加無料

こちらからお申し込みください➡
https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/geneseminar256

日本における養液栽培は第二次世界大戦後に始まりました。誰が何の目的で始めたのでしょうか。その後、いくつかのブームが来て、今では植物工場のブームに乗って発展しようとしています。その中で、当研究室では養液栽培の可能性と課題について研究を進めています。透析患者用低カリウムメロンおよびサツマイモ、アスリート向けおよび高血圧患者用高カリウムサツマイモ、LED等の人工光によるワサビの生産、そして、植物の自家中毒を研究テーマにしています。講演会では「養液栽培だから」できることとその課題について紹介したいと思います。

共開催：第256回 遺伝子機能解析部門セミナー　第379 回 細胞工学研究会講演会
主催・お問合わせ：島根大学総合科学研究支援センター・遺伝子機能解析部門
E-mail　idenshi@life.shimane-u.ac.jp　Tel 0852-32-6595